

1-(1) 新たな石垣を発見！史跡岐阜城跡分布調査報告

1 調査概要

- ・ 昨年度から引き続き**石垣の分布調査**を実施
調査時期：平成 31 年 1 月～ 4 月
調査箇所：金華山山上部～裏門付近
調査内容：踏査による遺構分布調査
(目視による確認、写真撮影、地形測量等)
- ・ これまでの 2 ヶ年で、**新たな石垣を合計約 30 ヶ所発見。**
石材は全て金華山を構成する**チャート**



→中でも、今回発見した、**裏門周辺**における**巨石列**や**石垣**は、
これまで謎に包まれていた裏門の構造解明につながる大発見

2 裏門周辺の詳しい調査成果

- ・ 水手道 (めい想の小径) と鼻高ハイキングコースの分岐点において、**信長期の巨石列や石垣、道三期の石垣を確認。**
- ・ **絵図** (「いなばじょうしのず稲葉城趾之図」) に描かれる裏門周辺の石垣と位置が**対応**。

- ⇒水の手道沿いに**信長期の巨石列** (石材 9 石)
最も大きい石材 長さ 140 cm×高さ 160 cm
- ⇒隅角部に**信長期の石垣** (2 段分残存)
石材 長さ 80 cm×高さ 30 cm
- ⇒鼻高方面に**道三期の石垣** (2、3 段分残存)
石垣残存長 180 cm、高さ 90 cm
石材 長さ 20～50 cm×高さ 15～30 cm



裏門の巨石列 (信長期)



裏門の石垣 (道三期)

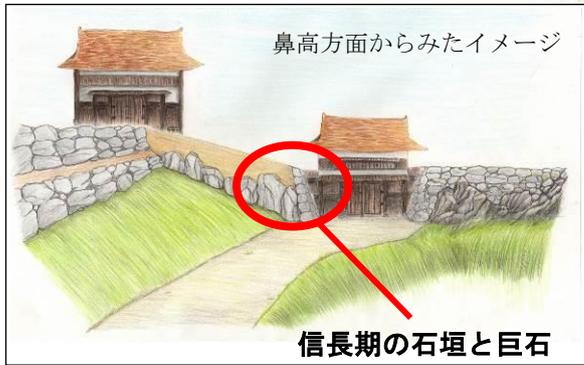
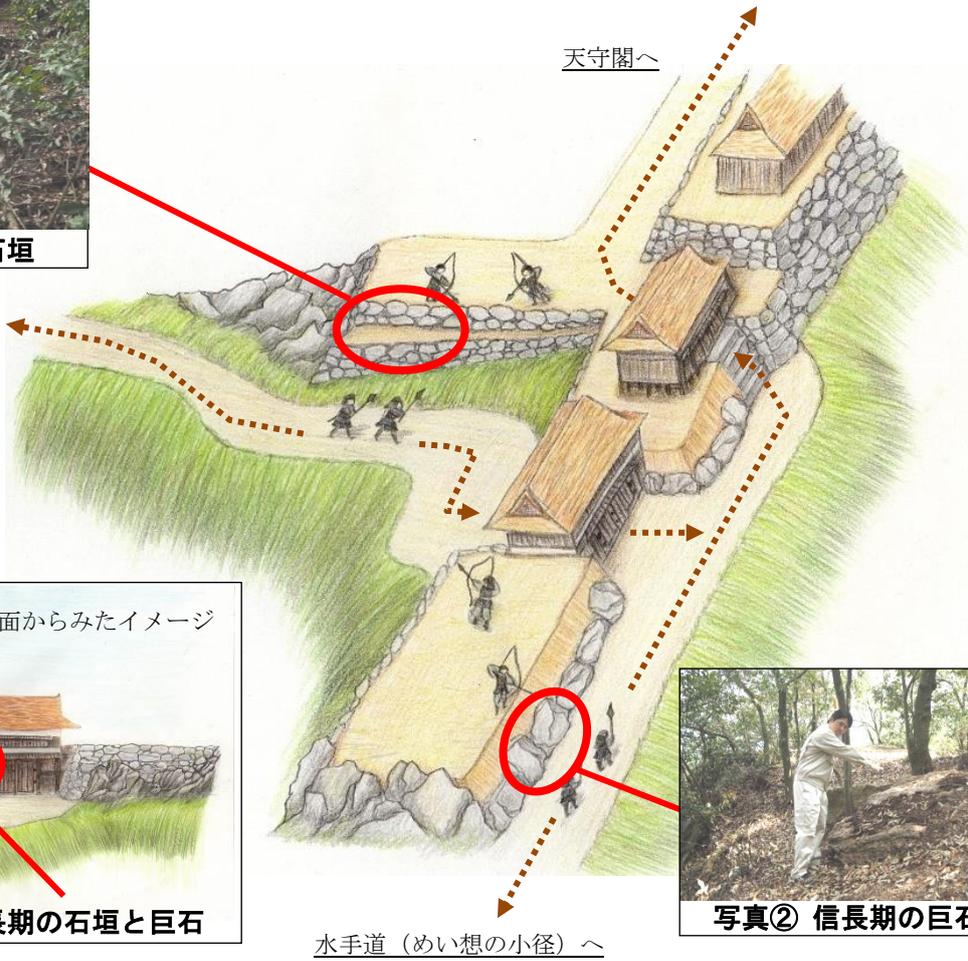
- ◎ **一ノ門だけでなく、裏門も巨石列により虎口 (出入口) を造っている。**
信長は自分の城の入口を大きな石で表示し、**見せる城づくり**を行ったのではないかと。
- ◎ 山上の中心部は信長が大きく改変したと考えられていたが、
裏門でも道三期の石垣が見つかったことにより、信長期の改修に組み合わせて、**道三期の石垣も引き続き利用している**ことが明らかになった。

裏門の復元イメージ図と現地写真



写真① 道三期の石垣

鼻高方面へ



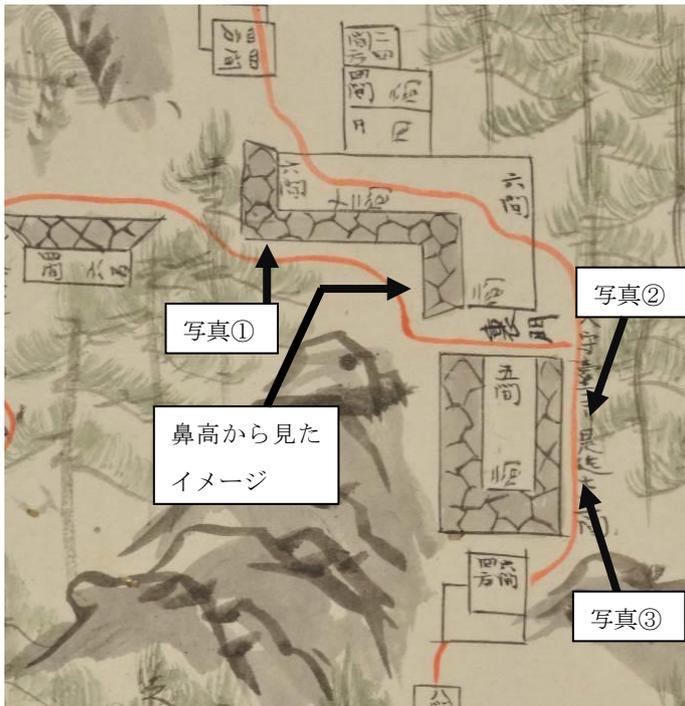
鼻高方面からみたイメージ

信長期の石垣と巨石

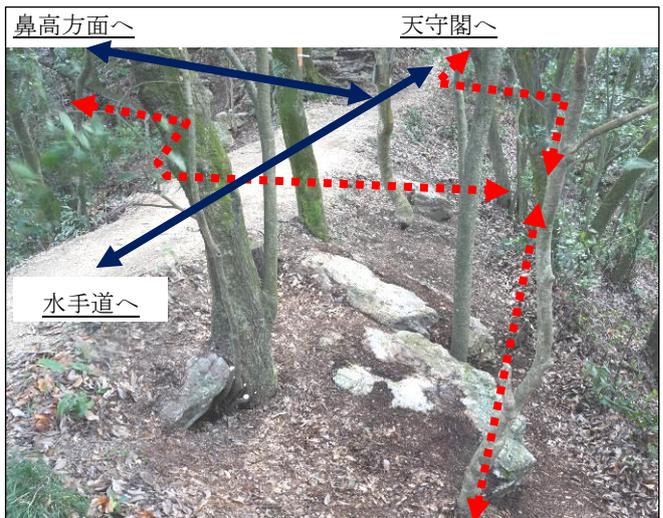


写真② 信長期の巨石列

水手道 (めい想の小径) へ



「稲葉城趾之図 (裏門部分)」伊奈波神社蔵



写真③ 信長期の巨石列

道の新旧関係

赤：絵図に描かれた登城路 青：現在の登山道

『稲葉城趾之図』に記された裏門とほぼ一致するところで門跡と見られる遺構が検出されたことは、絵図が極めて詳細に**現地の遺構を確認しながら描いた城跡図であることが明らかとなった**といえる。

巨石を用いた構造は大手にあたる一ノ門、二ノ門と同じ構造であり、**背面の城域を区画する重要な門**であったことがわかる。また、今回明らかとなった裏門付近には小石材を用いた石垣も発見されているが、これは斎藤道三の稲葉山城の石垣と見られ、**金華山には道三期の石垣も残されていることが判明した**。門遺構、道三期の石垣が同時に発見された意義は大きい。

いなばじょうしのず
稲葉城趾之図

17世紀後半から18世紀前半に制作された岐阜城全体を描いた絵図。

石垣の距離や高さ等も記されていることから、現地を測量した上で描かれたとみられる。伊奈波神社所蔵。

3 今後の取り組みについて

◎ 裏門周辺は登山道沿いであり、常時見学可能。

多くの方にぜひ現地を訪れて、“**本物**”を見ていただきたい。

現地には**説明板**を設置するとともに、

岐阜公園内の発掘調査案内所や山上の天守閣等でも**説明資料の配布**を行う。

→明日(4月25日)から開始

◎ 光秀がみた2つの岐阜城の解明へ

大河ドラマ「麒麟がくる」では岐阜城が大きく注目される。

調査成果をPRし、**大河ドラマを活かした市の観光施策**に資するとともに、
今後も調査を実施し、

明智光秀がみた道三と信長、2つの時代の岐阜城(稲葉山城)の本当の姿を
明らかにするとともに、

→大河ドラマ「麒麟がくる」の放映に向けて、

最新の調査成果をリアルタイムに発信していきたい。